

表(3)

一般国道の道路現況表

昭和43年3月

指定の有無	路線名	起終	地点	県内主要地帯	県内道路の実延長			改良内訳			舗装内訳			橋梁内訳							
					km	%	km	%	km	%	km	%	個数	延長	%	個数	延長	%	個数	延長	%
指定区間	3号	北九州市門司区 鹿兒島市	鹿北町、山鹿市、 熊本市、水俣市	140.0	140.0	0	100	140.0	0	100	109	2,703	109	2,703	100	0	0	0	0	0	
	57号	大分市 長崎市	一の宮町、阿蘇町 熊本市、宇土市、 三角町	76.0	76.0	0	100	76.0	0	100	65	623	65	623	100	0	0	0	0	0	
	208号	熊本市 佐賀市	植木町、玉名市、 荒尾市	27.9	27.9	0	100	27.9	0	100	21	516	21	516	100	0	0	0	0	0	
指定区間外	小計			243.9	243.9	0	100	243.9	0	100	195	3,842	195	3,842	100	0	0	0	0	0	
	3号																				
	57号			14.4	0.7	13.7	4.9	0.6	13.8	4.2	8	58	6	45	75.0	2	13	25.0			
	208号			4.0	4.0	0	100	4.0	0	100	3	95	3	95	100	0	0	0	0	0	
	212号	中津市 阿蘇郡阿蘇町	小国町、南小国村	42.0	12.8	29.2	30.5	31.0	11.0	73.8	24	398	24	398	100	0	0	0	0	0	
	218号	熊本市 延岡市	宇土市、松橋町、 矢部町、阿蘇町	69.7	15.0	54.7	21.5	27.5	42.2	39.5	27	540	26	532	96.3	1	8	3.7			
	219号	熊本市 宮崎市	宇土市、八代市、 大木町、湯前町	93.5	58.2	35.3	62.2	62.5	31.0	66.8	82	1,683	80	1,672	97.6	2	11	2.4			
	221号	人吉市 都城市	加久藤峠	17.2	1.1	16.1	6.4	0	17.2	—	12	111	10	90	83.3	2	21	16.7			
	265号	小津市 阿蘇郡阿蘇町	蘇陽町、高森町、 一の宮町	51.1	2.6	48.5	5.1	0.82	50.3	1.6	10	65	8	51	80.0	2	14	20.0			
	266号	牛深市 宇土郡三角町	本渡市、松島町、 大矢野町	96.3	49.1	47.2	51.0	23.6	72.7	24.5	84	2,712	81	2,693	96.4	3	19	3.6			
	267号	人吉市 川内市	田野峠(久七峠)	20.0	6.4	13.6	32.0	4.3	15.7	21.5	13	380	12	366	92.3	1	14	7.7			
	268号	水俣市 宮崎県東諸県郡高岡町	山木場	18.0	1.4	16.6	7.8	4.8	13.2	26.7	12	175	11	168	91.7	1	7	8.3			
	小計			426.2	151.3	274.9	64.5	159.2	267.0	37.4	275	6,217	261	6,110	95.0	14	107	5.0			
	合計			670.1	395.2	274.9	59.0	403.0	267.1	60.1	470	10,059	456	9,952	97.0	14	107	3.0			

表(2のA)

九州各県道路現況比較表

(昭和42年3月31日現在)

県名	九州各県道路現況比較表																								
	一般国道						主要地方道						一般地方道						合計						
	実延長	改良	舗装	延長	率	率	実延長	改良	舗装	延長	率	率	実延長	改良	舗装	延長	率	率	実延長	改良	舗装	延長	率	率	
熊本	671	351.5	52.4	352.6	52.6	667	283.8	42.5	181.7	27.2	2,487	422.5	17.0	192.8	7.8	3,154	706.3	22.4	374.5	11.9	3,825	1,057.8	27.7	727.1	19.0
福岡	523	500.2	95.7	493.0	94.3	756	575.3	76.1	361.3	47.8	2,433	1073.0	44.1	469.5	19.3	3,189	1,648.3	51.7	830.8	26.0	3,712	2,148.5	57.9	1,323.8	35.7
佐賀	296	263.4	89.1	262.2	88.6	325	200.9	61.8	97.4	30.0	779	315.5	40.5	98.1	12.6	1,104	516.4	46.8	195.5	17.7	1,400	779.8	55.7	457.7	32.7
長崎	393	336.5	85.7	306.6	78.1	566	310.1	54.8	135.2	23.9	1,171	291.5	24.9	126.4	10.8	1,737	601.6	34.6	261.6	15.0	2,130	938.1	44.0	568.2	26.7
大分	583	389.1	66.8	385.0	66.1	539	247.9	46.0	138.4	25.7	1,785	390.9	21.9	149.8	8.4	2,324	638.8	27.5	288.2	12.4	2,907	1,027.9	35.4	674.2	23.2
宮崎	767	350.9	45.8	350.2	45.7	579	194.0	33.5	90.9	15.7	1,307	305.8	23.4	150.3	11.5	1,886	499.8	26.5	241.2	12.8	2,653	850.7	32.1	591.4	22.3
鹿兒島	710	481.0	67.8	470.4	66.3	771	360.6	46.8	149.6	19.4	2,904	859.5	29.6	238.1	8.2	3,675	1,220.1	33.2	387.7	10.6	4,385	1,701.1	38.8	859.1	19.6
全国	28,029	19,732	70.4	18,863	67.3	32,877	17,293	52.6	11,211	34.1	188,365	23,328	26.4	12,459	14.1	121,242	40,621	33.5	23,670	19.6	149,271	60,353	40.4	42,533	28.5

表(2のB)

九州各県道路現況比較

(昭和42年3月31日)

区分	実延長	改良		舗装	
		延長	率	延長	率
熊本	3,825	1,058	27.7	727	19.0
福岡	3,712	2,149	57.9	1,325	35.7
佐賀	1,400	779	55.7	456	32.7
長崎	2,130	937	44.0	568	26.7
大分	2,907	1,029	35.4	674	23.2
宮崎	2,653	851	32.1	591	22.3
鹿兒島	4,385	1,701	38.8	859	19.6

るのである。
では次に県内の主要道路の状況を見て
みることにしよう。

□一般国道

国道には、三号線、五七号線、二〇八号線、二二二号線、二二八号線、二二九号線、二二一〇号線、二六五号線、二六六号線、二六七号線及び二六八号線の十一路線がある。その起点、終点及び県内における主な経過地などは別図及び別表(二)のとおりである。本年三月末日現在の見

□主要地方道

県道のうち主要地方道は、別表四のとおり二十七路線あるが、本年三月末日現在の見込みでは、改良が三百九十五キロメートル(五九%)、舗装が四百三十三キロメートル(六〇%)に、橋梁は、四百五十六橋(九七%)が永久橋になる予定。

□一般県道

県道のうち主要地方道以外の一般県道は、大牟田植木線など二百十五路線があるが、国道や主要地方道に比べて交通量が少なく支線存在にあるため、その整備状況も遅れており、本年三月末日現在の見込みでは、改良が四百四十七キロメートル(二七%)、舗装が二百五十五キロメートル(二〇%)、橋梁は、千五百六十二橋(八〇%)が永久橋になる予定である。

道路と予算

★道路改良に重点を……

県では、昭和四十年に、県計画「豊かな県民生活への道」を策定し、産業の近代化、産業基盤の強化、人づくりの促進及び生活環境の整備を基本対策として、それぞれ具体的な計画をたて総合的な推進をはかっている。その中でも地域開発の基礎である産業基盤の整備、特に道路整備事業については、流通の合理化と県民生活環境の改善に寄与するところが極めて大であるということと、最近に

おける自動車交通量の激増と大型化に対処するため、県の重点施策として積極的な投資を行なうこととしている。そしてその骨格をなすものとして次の三点を大きく掲げている。

1. 大動脈の幹線道路を整備して、輸送費の節約と時間及び距離の短縮をはかる。
2. 県内各地域を有機的に連絡する道路を整備する。
3. 県内各地域内の基盤整備のため適正規格の道路を整備する。

以上の施策を推進するために、国に対しては積極的な働きかけを行ないながら、公共事業の伸びをはかる一方、交通安全対策事業や道路舗装事業など緊急度の高い事業については、単県事業を拡充して、必要な事業量の確保をはかっているが、市町村道についても毎年千二百万円程度の補助を出している。従って最近における道路投資の実績は、別表四のとおり年々拡大され、道路整備事業予算は、県の総予算に対して一〇%の多くを占めており、道路投資がいかに重点的に行なわれているかがわかると思う。

なお、道路の改良、舗装或は橋梁の架け換え工事を行なうのに、どの位の金を必要とするかを考えてみると、

■道路改良

全幅員六・五メートルの場合一メートル当り八万七千円